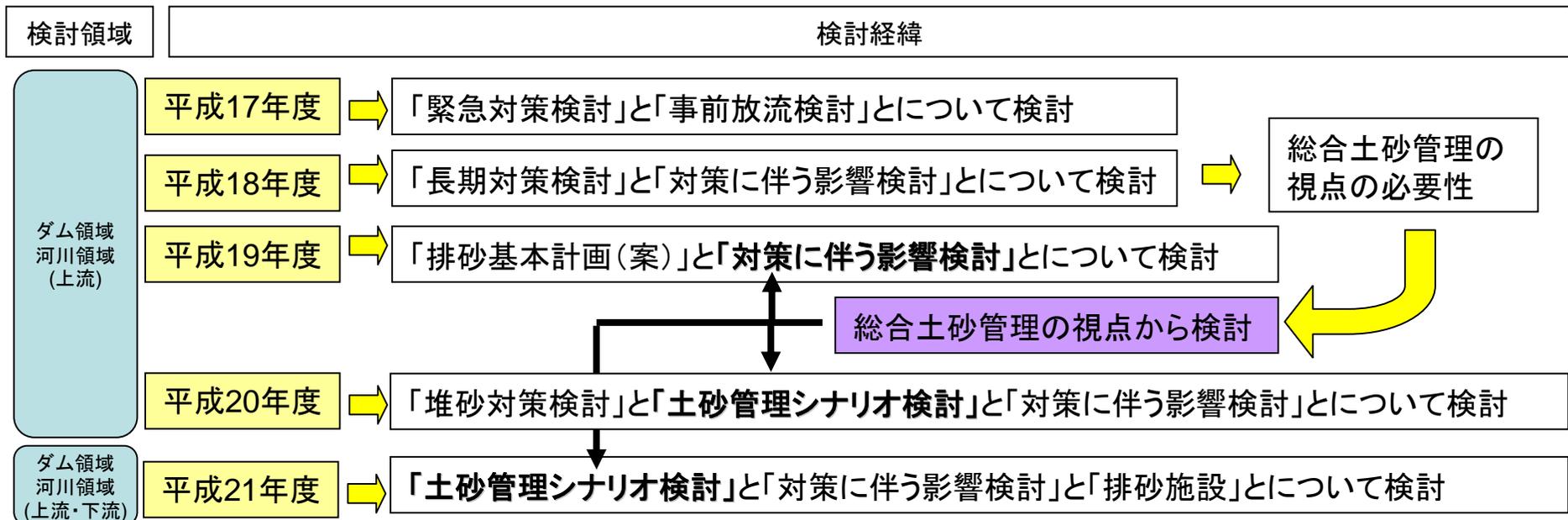


I. 矢作川水系総合土砂管理検討委員会 検討概要とスケジュール



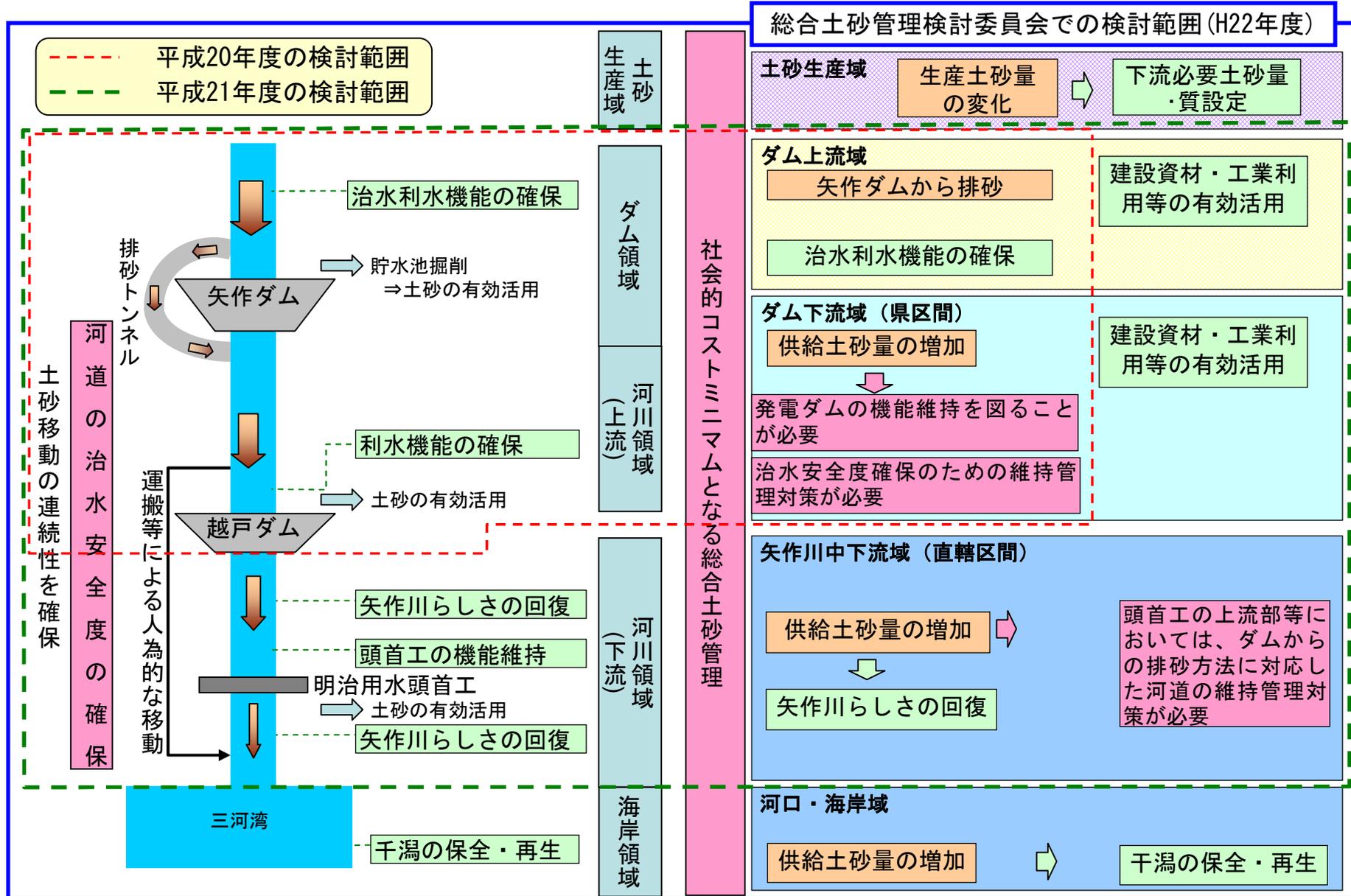
1. 検討の概要

- (1) 矢作ダムは、昭和46年4月の運用開始以降30年以上が経過し、年間30万m³程度で堆砂が進行している。
- (2) 平成12年の恵南豪雨により1年間で280万m³の土砂が貯水池に堆砂し、その堆砂量は平成21年現在で1,540万m³に達しており、計画堆砂容量の1,500万m³を超過するなど堆砂対策が緊急の課題となっている。
- (3) 一方、ダム建設以降貯水池内外において環境の変化が生じてきており、平成19年度からは、長期ダム堆砂対策の実施に向け、流域を視野においた総合土砂管理の視点を踏まえた検討を開始した。
- (4) 矢作ダムから越戸ダムまでの区間を対象に、平成19年度は排砂基本計画(案)と下流への影響予測方法について、また平成20年度は土砂管理シナリオの方向性、調査計画及び下流河道の影響評価案について検討した。
- (5) 平成21年度は越戸ダム下流区間も合わせた土砂管理シナリオの方向性等について検討を行っている。

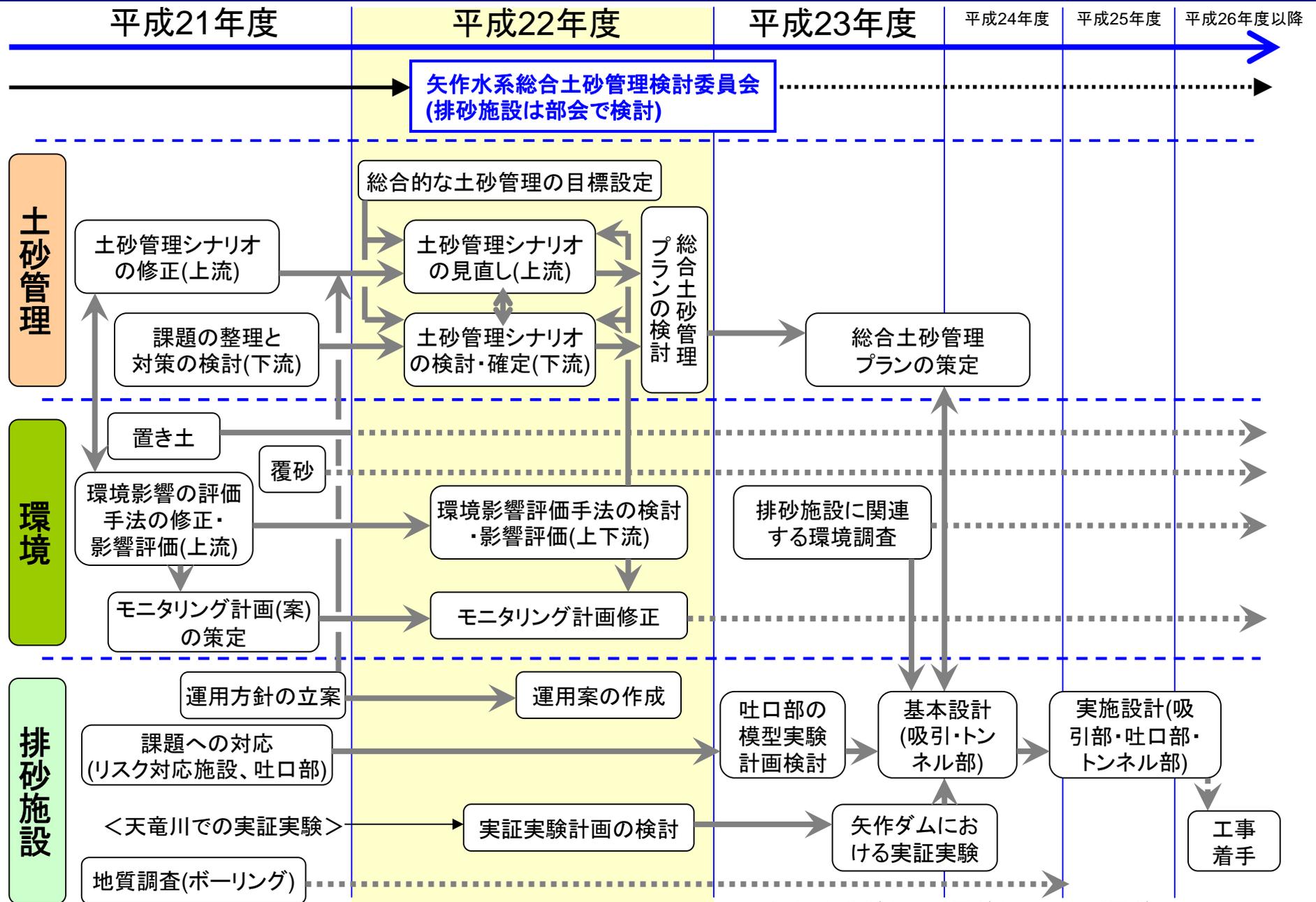


1. 委員会の概要（今後の委員会の進め方）

矢作ダムからの排砂による効果、影響及び対策を矢作川全体でとらえ、総合土砂管理プランを策定する



1. 委員会の概要（今後の委員会の進め方）



※上流: 矢作ダム～越戸ダム、下流: 越戸ダム～河口

1. 委員会の概要（今年度の委員会の進め方）

委員会では、以下の3つのテーマを設け、テーマごとに議論

- ①土砂管理
 - ②排砂に関わる環境
 - ③排砂施設
- } **委員会**で議論
- } **部会**で議論

各委員会・部会で扱う主なテーマ（案）

	第1回 委員会	第1回 部会	第2回 委員会	第2回 部会	第3回 委員会
開催日 (予定)	10月上旬頃		12月中旬頃		2月中旬頃
土砂管理	<ul style="list-style-type: none"> ・総合土砂管理プランについて(流砂系の概要, 流砂系で発生している課題, 流砂系の目指すべき姿, 目標期間, 土砂管理目標) 		<ul style="list-style-type: none"> ・ダム領域、河川領域の土砂管理シナリオ見直し ・土砂生産域、海岸領域の土砂管理シナリオ(案) ・総合土砂管理プラン前半部分(現状・課題)の確認 		<ul style="list-style-type: none"> ・土砂管理シナリオの総合評価 ・矢作川水系総合土砂管理プランについて(第1回委員会における指摘事項の修正、連携して取り組む機関と役割分担, モニタリング計画)
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・H22年度置き土実験の評価 ・平面二次元計算による環境影響評価方法 ・H21年度覆砂実験の評価と今年度実験計画 		<ul style="list-style-type: none"> ・有力シナリオに関する環境影響の評価と保全対策 		<ul style="list-style-type: none"> ・覆砂実験の評価 ・モニタリング計画(案)修正
排砂施設		<ul style="list-style-type: none"> ・最適排砂工法 ・実証実験条件 		<ul style="list-style-type: none"> ・実証実験計画(案) 	

1. 委員会の概要（今年度の委員会の流れ）

